

## 【重要課題】水資源利用の効率化

### 方針・基本的な考え方

水リスクは大きく分けて、渇水、洪水、水質汚染の影響による物理的リスク、水質基準強化や上下水道料金の改定、工水の供給停止による上水への切り替えなどの規制リスクなどが挙げられます。また、水資源は限られた大切な資源であり、その保全は世界的に重要課題となっています。

日本化薬グループではさまざまな化学製品を製造しており、水資源は事業活動を営んでいくために必要不可欠です。事業活動をするにあたり、当社は水が大切な資源であることを常に意識し、水の使用で無駄がないよう取り組んでいます。

### 体制

▶ [レスポンス・ケアの推進](#)

### 指標

2021年度の総排水量は10,011千m<sup>3</sup>となりました。なおこの総排水量はその前年度の9,919千m<sup>3</sup>と比較して、生産量が増加している状況にも拘らず約0.9%の増加に収まりました。貴重な水資源を守るべく、今後も厳格な排水管理と排水量削減に努めてまいります。

### 水資源の利用

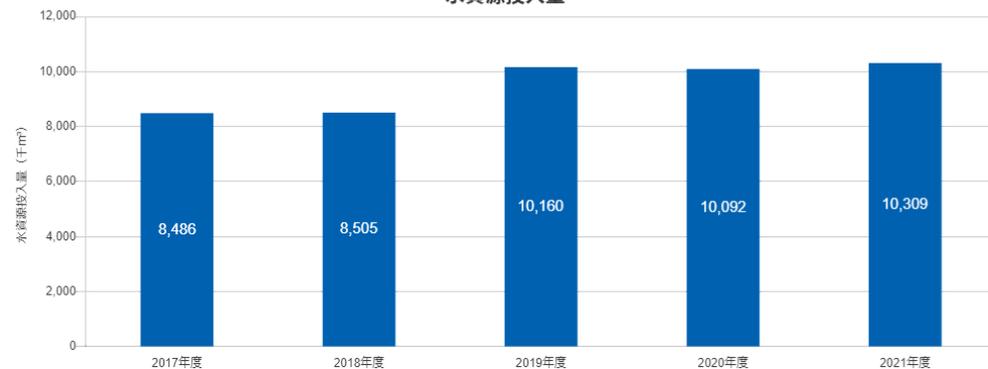
指標		対象範囲	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
水資源投入量	都市用水 (水道水)	単体	千m <sup>3</sup>	371	348	356	390	363
	工業用水	単体	千m <sup>3</sup>	6,507	6,534	7,521	7,874	8,098
	地下水	単体	千m <sup>3</sup>	1,607	1,624	2,283	1,828	1,848
	合計※1	単体	千m <sup>3</sup>	8,486	8,505	10,160	10,092	10,309
	水ストレス地域から※2	単体	千m <sup>3</sup>	0	0	0	0	0
放流量※3	単体	千m <sup>3</sup>	9,596	9,585	10,577	9,919	10,011	
リサイクルした水の量	単体	千m <sup>3</sup>	0	0	0	0	0	
リサイクル率	単体	%	0	0	0	0	0	

※1 四捨五入の関係で、各項目の和と合計が一致しないところがあります。

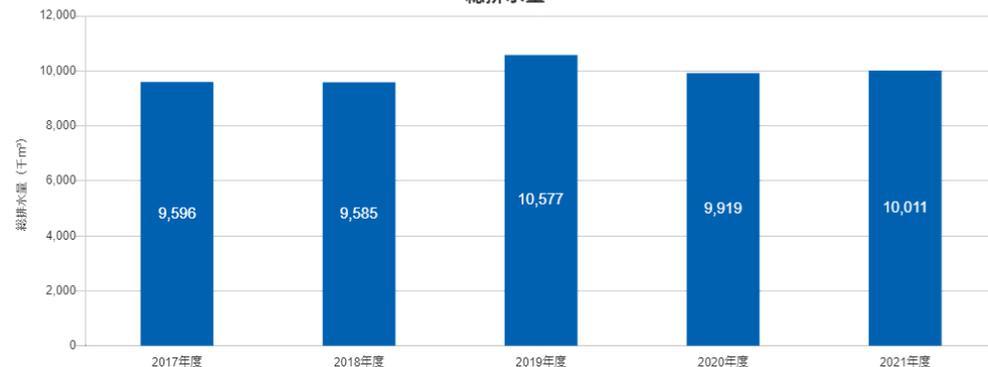
※2 当社の製造施設のある地域(福山(広島)、厚狭(山口)、東京、上越(新潟)、高崎(群馬)、姫路(兵庫)、鹿島(茨城))は水ストレス地域ではないと評価しております。

※3 工業用水または地下水のうち、もともと同等かそれを上回る品質で取水源に戻される水

水資源投入量



総排水量



### 福山工場 使用水量削減に向けた取り組み

福山工場では、色素の生産工程で排出される廃水を工場内で処理し、その処理水を瀬戸内海に放流しています。同工場では2000年からインクジェットプリンター用色素を生産しており、生産に伴って排出される廃水の処理法の改善に力を入れ、生産銘柄に合わせた個別の処理の実施や、低環境負荷のための生産工程の変更を数多く検討してきました。

これらの活動の成果が実り、工業用水契約水量を24,000m<sup>3</sup>/日から、2015年には23,000m<sup>3</sup>/日、2018年度には22,000m<sup>3</sup>/日へと段階的に削減してきました。現在、さらに廃水の処理法に磨きをかけることで、生産量が増加する中でも工業用水契約量を変更することなく生産しています。また、工業用水だけでなく、上水道も生産工程や設備洗浄工程で使用していますが、こちらの削減にも取り組んでいます。

### カヤク セーフティシステムズヨーロッパ

#### 雨水を活用する設備の導入

カヤク セーフティシステムズヨーロッパ（以下、KSE）は、環境保護を推進するための設備投資活動の一環として、雨水を効果的に利用するための貯水タンクシステムを2017年より導入し、2020年度までに750.5 m<sup>3</sup>相当のタンクを設置しています。雨水や、製造工室内の湿度管理のための空調から出る水を、飲用以外の用途に用いることで、水資源の利用の効率化だけでなく費用の削減にもつなげています。



気候変動の影響でチェコでは降水量の減少が大きな問題となっている現在、水の再生利用はとても重要です。2020年度以降の年間貯水量はKSEのすべての従業員とその家族（約4,000人）が年間で使用する飲料水量を上回っています。KSEではこのプロジェクトを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

	単位	2019年度	2020年度	2021年度
貯水量（計画）	m <sup>3</sup>	-	4,877	5,040
貯水量（実績）	m <sup>3</sup>	4,433	6,177	7,234
効果額	万円	282	361	411